

IV. 学年、各部、各教科の努力目標並びに活動計画

1. 学年部

(1) 1 学年

①努力目標

- ア 基本的な生活習慣の確立
- イ 授業規律を確立し、基礎学力の定着を図る
- ウ 高校生活が夢を育てる場であることを自覚させ、進路意識の高揚を図る
- エ 自主的な清掃活動と学習環境の整備に努める
- オ ホームルーム活動の充実を図り、クラスの和を深める

②主な活動計画

- ア 学年集会を定例化し、学年の連帯意識を強める
- イ 授業中の携帯、飲食、私語、居眠りのない授業実践を目指す
- ウ 他学年と連携し、足並みを揃えて、遅刻・欠課・欠席・身なり指導等に取り組む
- エ LHRや総学などの時間を活用してキャリア学習を取り入れ将来の進路に向けた意識づくりを行う
- オ 教室内の美化に努め、清掃活動を徹底する
- カ ホームルーム行事を充実させ、クラスの結束を図る
- キ 各部・各係・担任間の連携を密にし、学年体制を強化して諸課題解決に取り組む
- ク 保護者との連携を密にし、情報交換に努める

(2) 2 学年

①努力目標

- ア 基本的な生活習慣の確立（勤怠・身なり・授業態度の指導）
- イ 社会性・人間性の育成
- ウ 美化意識の高揚と、清掃指導の徹底
- エ 基礎学力の定着を図るとともに、早期の進路目標の決定
- オ ホームルーム単位による結束力と生徒の帰属意識の向上
- カ 授業規律の確立と共に、生徒の学習意欲の高揚

②主な活動計画

- ア 学年集会を定例化し、学年団としての連帯意識を浸透させる。
- イ 他学年と連携し、統一感を持った指導（勤怠・身なり・授業態度・言葉遣い）を行い、生徒の良識を育む。
- ウ ゴミの分別を徹底し、校内外を問わず自主的な美化意識の高揚を図る。
- エ 生徒1人1人の課題や問題の早期解決を目指すための学年室の活用を図る。
- オ 個々の進路に対する目標を明確にするための学年集会や講話を持ち、早期の進路目標の決定に生かす。
- カ 生徒が学年行事、学級行事に積極的に参加したくなるように、LHRを有効に活用する。
- キ 保護者との連携を密にし、配布物等を通して、情報共有を図る。
- ク 各部・係・副担任・教科担任との連携を密にし、情報の伝達の円滑化を図る。
- ケ 教育相談係との連携を強化し、いじめや中退等についての予防的生徒指導を実践する。

(3) 3 学年

①努力目標

- ア 勤労観・職業観を育成し、進路の早期決定を促す。
- イ 学習意欲の向上をはかり、実社会で活かせる力の習得を目指す。
- ウ 基本的な生活習慣と美化意識を確立するとともに、自主性を育てる。
- エ HRの和を大切に、他者との関わりの中で自己の存在を認識し、自覚と誇りを持たせる。

②主な活動計画

- ア 進路部との連携を密にし、進路の早期決定を図る。
- イ 全単位修得しての卒業を目指して、継続的な指導に努める。
- ウ 生徒の美化意識の高揚を図り、校内美化に努める。
- エ 他学年との連携した勤怠・身なり指導の実施を通して、責任感・マナーの習得を図る。
- オ HR活動の充実を図り、各種行事に積極的に関わっていく意識作りに取り組む。
- カ 学年会、学年集会の定例化によって学年団としての連帯感を深める。
- キ 担任・教科担任・各部・保護者との情報交換を積極的に行う。

2. 各 部

(1) 教務部

①努力目標

教育目標に沿って、郷土の文化を愛し、知・徳・体の調和の取れた創造性に富む人間性を養うため、生徒の自主・自律・創造性を生かした学校行事を企画し、各部・各学年・各教科と連携する

②主な活動計画

- ア 行事を精選し、授業時数の確保に努める。
- イ 職員会議・学年会・部会等を定例化し、連携を図る。
- ウ 各教科担任、HR担任、学年主任と連携して学力の向上を図るとともに、単位保留者の追認考査の実施及び単位取得に向けた指導に努める。
- エ 内規の整備に努める。
- オ 南風タイムを実施し、生徒自身の在り方・生き方の向上を図る態度を育てる。
- カ 公簿の記入要領の徹底と整備に努める。
- キ 各種委員会・各会議の効率化を図り、職務内容の改善に努める。
- ク 共有データの作成、進路支援システムを用いて学級経営・成績処理が円滑に行えるよう努める。
- ケ 情報室内の情報機器の管理・校内LANの保守運用に努める。
- コ 新進路支援システム移行をスムーズに行えるように努める。

(2) 進路指導部

①努力目標

- ア 早期の進路目標設定を促し、進路決定を目指す
- イ 保護者・担任と連携した進路指導
- ウ 主体的な進路活動ができる能力の育成

②主な活動計画

【早期の進路決定に向けて】

- ア 進路希望調査の実施
- イ 進路講演会等の実施
- ウ 各種進路資料の提供
- エ 進路資料室活用の呼び掛け・利用指導

【保護者・担任との連携強化】

- ア 3学年会との進路検討会の実施
- イ 保護者への奨学金等の説明会実施
- ウ 三者面談資料の提供

【主体的な進路活動に向けての支援】

- ア 各種講座の実施（早朝・放課後、夏期講座等）
- イ 模擬試験の実施
- ウ 実力テストの実施
- エ 模擬面接・就職支援の実施（3学年と連携）
- オ 奨学金制度の紹介・手続き指導
- カ 就職・進学相談会への参加

(3) 図書広報部

①努力目標

- ア 地域や中学校への広報活動を積極的に行い、次年度入試の志願者増をめざす。
- イ 図書・視聴覚教材の充実を図り、利用促進に努める。
- ウ P T A活動の活性化を図り、保護者との連携を密にする。
- エ 各部との連携を密にし、業務内容の精選・整理を行う。

②主な活動計画

- ア 地域、中学校へ広報活動を行う。
ホームページ作成更新、学校紹介ビデオ・パンフレットの作成、掲示板・昇降装置付懸垂幕の活用
- イ 図書の充実を図るとともに、学習環境を整備し、図書館の利用促進を図る。
図書館オリエンテーション、校内読書感想文・感想画コンクールの企画・運営、文集「こだま」の編集・発行
- ウ 図書委員会活動を活発にする。
「慰霊の日」写真資料展、「図書館だより」の発行
- エ 視聴覚機器および教材の充実を図り、利用促進に努め、教育環境を整備する。
視聴覚機器の管理、機器説明会・芸術鑑賞会等の企画・運営
- オ P T A活動の活性化を図り、保護者との連携を密にする。
P T A入会式、P T A総会、同総会入会式等の企画・実施、P T A新聞の発行

(4) 生徒指導部

①努力目標

- ア 基本的な生活態度を身につけ、望ましい人格形成をめざす。
- イ 社会、学校のルールを守り、社会、学校生活に適応できる人間を育てる。
- ウ 責任感、忍耐力を養い、自制心のある人間を育てる。
- エ 好ましい授業態度を養い、自発的に学習できる人間を育てる。

②主な活動計画

- ア 勤怠指導、身なり指導を行う。
- イ 生徒会・部活動を奨励する。
- ウ 交通安全の意識高揚を図る。
- エ 校内巡視を行う。

(5) 環境保健部

①努力目標

- ア 清掃活動の徹底をはかり、美化活動の推進
- イ 規則正しい生活習慣を身につけさせ、健康安全の保持推進
- ウ 学級担任、養護教諭、生徒指導部及び保護者との連携、教育相談活動
- エ 利用しやすい相談室の環境づくりと各種調査による生徒の実態把握
- オ 特別支援教育の啓発、推進
- カ 企画・施設管理、広報、渉外等

②主な活動計画

- ア 日々のごみ分別指導
- イ 清掃点検
- ウ 清掃分担区割り振り
- エ 校内の緑化
- オ 全体清掃計画
- カ 学校行事時の清掃計画実施
- キ 健康診断の実施と事後指導
- ク 保健講話の実施

- ケ 担任と連携し、必要な生徒の教育相談を行う。
- コ 懲戒・訓告等の指導を受けた生徒の面談指導を必要に応じて行う。
- サ 教育相談や生徒理解のための職員研修を実施、教育相談情報を提供する。
- シ 特別支援教育対象の生徒の共通理解を図るために、学級担任、教科担当が連携して個別の指導計画を作成する。

(6) 事務部

①努力目標

本校の教育目標達成のため、事務室の機能を最大限に発揮できるよう、相互に研鑽を深め職務に当たる。

②活動方針

- ア 学校の窓口としての認識をしっかりと持ち、来客・電話対応等適切に行う。
- イ 職員間の連絡、調整を密にとり、計画的で円滑な事務運営を行う。
- ウ 計画的、効率的な予算執行を行う。
- エ 合規性・経済性・効率性・有効性をもって事務処理を行う。
- オ 平成29年度の併設校開設に向けた魅力ある学習環境の整備に努める。
- カ 高等学校等就学支援金及び奨学のための給付金制度の周知を行う。
- キ 授業料及び校納金の期限内納入に努める。

3. 各教科

(1) 国語科

①努力目標

- ア 授業規律を確立し、基礎学力の定着を図る。
- イ 目的や場に応じて、論理的に話したり書いたりする能力を育成する。
- ウ 小論文指導に取り組み、進路決定を支援する。

②主な活動計画

- ア 「常用漢字ダブルクリア」の活用と漢字検定取得の奨励
- イ 校内弁論大会に向けての意見文指導
- ウ 校内感想文コンクールの実施（図書館との共催）
- エ 早朝講座・課外講座の実施

(2) 地歴公民科

①努力目標

- ア 授業規律を確立し、基礎基本の徹底を図る。
- イ 歴史的思考力を培い、国際社会で主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
- ウ 良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
- エ 沖縄に生きる者としての自分自身のアイデンティティの確立を図る。

②主な活動計画

- ア 学習指導の工夫、教材の精選、教育機器の活用に努める。
- イ 早朝講座、課外講座の実施
- ウ 研修を企画し、実施する。
- エ 教科備品の充実と有効活用を図る。
- オ 地域教材を導入する。

(3) 数学科

①努力目標

基礎・基本の定着を図り、数学的な考え方や必要な知識・技能を身に付けさせる。

②主な活動計画

- ア 授業内容の精選及び指導の充実
- イ 学習態度の確立
- ウ 習熟度別授業（少人数）の実施
- エ 早朝・課外講座の充実
- オ 数学検定の実施

（４）理科

①努力目標

- ア 基礎学力の定着を図る。
- イ 身のまわりの科学的現象を捉える思考力を養う。

②主な活動計画

- ア 学習指導・教材の工夫、教育機器の活用に努める。
- イ 実験・実習の充実を図る。
- ウ 備品・消耗品の充実を図る。
- エ 教育環境の整備（クーラーの設置）
- オ ４分野（物理・化学・生物・地学）の情報交換・研修の推進
- カ 理科職員の野外研修実施

（５）保健体育科

①努力目標

- ア 「保健」「体育」を通してけじめある規則正しい生活習慣の重要性を理解させる。
- イ 生徒の実態に応じた運動技能を習得させ、自ら運動に親しむ習慣を身につけさせる。

②活動方針

- ア 日常より生徒観察を行い、気づいたことがあればその場で指導するよう心がける。
- イ 他の職員や保護者と連携を図り自主・自律を重視した生徒の取り組みを支援する。
- ウ 安全に留意し生涯において運動に親しみ自分の健康は自分で守る能力を育てる。
- エ 互いに助け合い、高め合い、安全を確保し、公正・協力への意思を持てるようにする。

③主な活動計画

- ア 全学年選択制授業を行う。
- イ 集団行動・体づくり運動を充実させる。
- ウ 体力向上のために持久力走及び水泳の授業を充実させる。
- エ 保健の授業を通して生活習慣病・飲酒・喫煙・薬物乱用・交通安全・応急手当・性教育など現代的課題の学習の充実を図る。
- オ 体力テストを通して自己の体力・運動能力を確かめ、さらなる向上を目指す機会とする。

（６）保健体育・芸術〔郷土文化〕

①努力目標

- ア 郷土の文化や歴史に興味・関心を持ち、地域社会の形成者として、福祉や教育に寄与する人材の育成と郷土文化の継承・発展・研究に努める人材の育成を図る。
- イ 礼節を学び、規律ある生活態度を養い、自ら学ぶ意欲を育てる。
- ウ 基本的所作を身につけ、段階的な技術を習得し、諸活動に活かすことができる。

②主な活動計画

- ア 郷土文化に関する科目の選択授業の実施。
- イ 歌碑巡りの実施。
- ウ ３年生による校外実習の実施。
- エ 小中学生へ向けて郷土文化コースの広報活動を行う。

(7) 芸術科

①努力目標

ア 芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、豊かな情操を養う。

イ 授業規律を確立し、芸術における基礎学力の定着を図る。

音楽

- ・多様な表現活動を通して、表現意欲の向上や演奏技術の伸長を図る。
- ・身近にある音楽やその他の幅広い音楽に親しみ、鑑賞能力を養う。

美術

- ・多様な造形方法と基礎技術の習得を通して、表現力を深めさせる。
- ・鑑賞能力を養い、表現意欲を高め、創作の喜びを味わわせる。

書道

- ・書写学習を通して、基礎となる楷書・行書を指導する。
- ・古典の臨書を通して、表現力と鑑賞力を高め、創作の喜びを味わわせる。
- ・書を身近なものとして、積極的に生活のなかに取り入れる態度を養う。

②主な活動計画

ア 芸術科発表会の実施

イ 課外講座（進学及び検定に関する）の実施

(8) 英語科

①努力目標

ア 基礎学力の定着

イ 総合的コミュニケーション能力の育成

ウ 積極的な異文化理解の推進

エ ALT とのティームティーチングの活性化

オ LL 教室の効果的活用

カ 英語検定取得の奨励

②主な活動計画

ア 単語テストや小テスト等の実施

イ コミュニケーションを重視した授業への取り組み

ウ 生徒が英語に興味・関心を持ち、意欲的に学び、世界へ目を向ける授業作りの確立

エ 各種コンテスト（スピーチコンテスト・スキットコンテスト等）への積極的な参加

オ CALL システムの研修実施

カ 英検の校内実施と対策

(9) 家庭科

①努力目標

ア 家庭生活の形成者として、生活に必要な基礎的、基本的な知識・技術を身につけさせ、主体的に判断し、行動できる能力を育てる。

イ 楽しくわかりやすい授業・実習を実践する。

ウ 施設・設備の充実を図る。

②主な活動計画

ア 楽しくわかりやすい学習指導の研究

イ 教材・教具の製作及び効果的活用

ウ 家庭クラブ活動の充実向上（家庭・地域との連携）

(10) 情報科

①努力目標

ア 情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識や技能を身につけさせる。

イ 情報活用のルールやマナーの修得、コミュニケーションにおける実践的態度を養う。

②主な活動計画

- ア 基礎基本の徹底
- イ 情報の活用について、ルールやマナーの意味を正しく理解させ、正しく活用ができるよう考え方や態度を育成する。
- ウ 機材や施設を利用する際のマナーの指導。

(11) 商業科

①努力目標

- ア 商業の各分野に関する基礎的、基本的な知識と技術を習得させ、経済社会に役立てる能力と態度を育てる。
- イ 各種資格・検定の取得を積極的に推進する。

②活動計画

- ア 学習意欲を高め、各種検定を積極的に受験させる。
- イ 検定対策講座を実施する。
- ウ ビジネスマナーを身につけさせる。

4. 沖縄高等特別支援学校分教室

①努力目標

- ア 日常生活に必要な基礎的な学習を習得すると共に、実態に応じた課題を克服する。
- イ 職業的自立、社会的自立を目指し、必要な知識や技術を身に付ける。
- ウ 南風原高等学校の生徒との交流を通し、社会性を伸ばし地域の一員としての生きる力を育む。

②活動計画

- ア 生徒の実態に応じた学習の設定。
- イ 知識や技術、資格取得等に向けた授業の実施。
- ウ 南風原高等学校の学校行事や諸活動への積極的な参加。